

2026年1月7日

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程、宜しくお願ひ申し上げます。

敬白

記

【新規受託項目】

コードNo.	検査項目名
14249 (従来システム 6500)	プロテインC活性

プロテインCは肝臓で合成されるビタミンK依存性蛋白質の一種で、血管内皮細胞に存在するトロンボモジュリンとトロンビンの複合体により活性化されて活性化プロテインCとなり、プロテインSを補酵素として活性化第V因子、活性化第VIII因子を分解・失活させることで血液凝固を抑制しています。

プロテインC検査は主に血栓性素因のスクリーニングや先天性プロテインC欠損症の診断で用いられます。プロテインCの量的異常と質的異常の鑑別には活性と抗原量の測定が必要とされています。

この度、現行項目と同等の性能を有する別メーカーの試薬を用いたプロテインC活性検査の受託を開始いたします。

【開始時期】2026年2月2日（月）ご依頼分より

●当該検査の受託開始に伴い、現行のプロテインC活性（コードNo.03047（従来システム753））は、2026年3月30日（月）ご依頼分をもって検査の受託を中止させていただきます。

尚、詳細につきましては、営業担当者またはインフォメーションまでお問い合わせ下さい。

本社 〒710-0834 倉敷市笹沖468番地の5

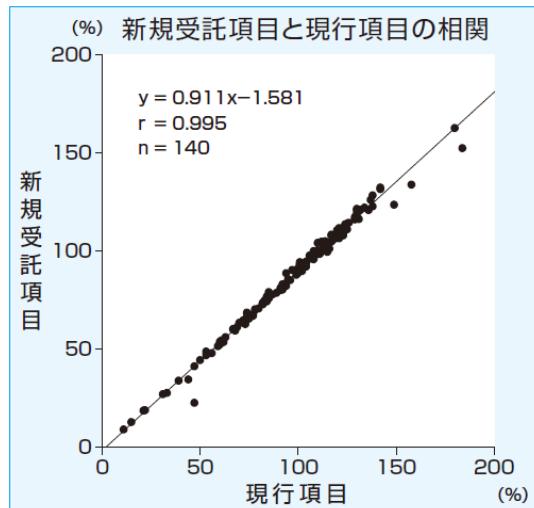
インフォメーション TEL(086)427-2323

ホームページ <http://www.oml-inc.jp>

【受託要領】

	新規受託項目	ご参考:現行項目
コード No.	14249 (従来システム 6500)	03047 (従来システム 753)
検査項目名	プロテインC活性	同左
検体量	クエン酸血漿 0.3mL	同左
採取容器	E→1	同左
保存方法	凍結	同左
検査方法	合成基質法	同左
基準範囲	82~112	70~140
単位	%	同左
所要日数	3~4日	2~4日
報告範囲	5未満~180以上	10未満~200以上
報告桁数	整数	同左
検査実施料/判断料	227点 / 血液学的検査 125点	同左

<相関図（ご参考）>



(委託先検討資料)

《検査方法の参考文献》

由木洋一, 他: 京臨技会誌 26, 153~158, 1999.

以上